

新年度のご挨拶 (審判委員長 小川光)

3月11日(金)の東北地方太平洋沖地震により被害を受けられました皆様へ心からお見舞い申し上げますと共に、犠牲になられた方々にご遺族の皆様に対し深くお悔み申し上げます。

被災された皆様方の1日でも早い復興がなされますことをお祈りいたします。

さて、(社)大阪府サッカー協会の改選がおこなわれ、2011、2012年度の役員が選出され審判委員会も一部役員を改選いたしました。皆様よろしくお願い致します。

今回の改選で強化部と指導育成部を統合し強化育成部として、2級から4級までの審判員を指導していくことにしました。特にユース年代、女子審判員の育成、強化を積極的におこないます。皆様のご協力をよろしく願います。

次回発行 7月予定



● 大阪開幕前研修会 2011 (3/20 開催)

2011年度シーズンを控え、強化部・指導育成部・インストラクター一部合同での開幕前研修が実施されました!

大阪合同開幕前研修に参加して

(2級審判員 広瀬研一郎氏)

“レフリーは日本サッカー発展の一役を担う、それを見失うな。”

この小川委員長のお言葉から始まった研修会ですが、内容の濃い充実した研修でした。午前は関西協会での研修のフィードバック、スタンダードビデオの解説、強化部の方々から参加者に向けたメッセージを頂戴しました。午後は、本研修の目玉である、大阪社会人選手権決勝戦の観戦研修とそれを受けてのグループディスカッションを行いました。

試合を担当した審判団は滞りなくゲームを進め、特に谷本主審の若さ溢れる動きに観戦者一同見入っていました。自分と同じ、あるいは次の目標となるカテゴリーの審判員を、客観的に、大勢で議論しながら、このとき自分ならどうするか、そういった分析ができたことは非常に勉強になりました。

最後に、自分の成長が日本サッカーの発展につながると信じ、本研修で得られた経験と刺激をベースに、今シーズンも一所懸命審判活動に取り組みたいと考えております。



各グループの試合分析
を聞く審判員



研修試合の
大阪府社会人選手権決勝

開幕前研修に参加させていただいて

(3級審判員 藤井貴也氏)

今回この研修で1番目標にしていたことは、今年の本協会から示されるスローガンをいかに理解できるかということです。去年は手の不正使用というスローガンがありましたが、今年は当たり前の事を当たり前にするというスローガンです。スローイン、フリーキックのポイントをしっかりするという極当たり前のことですが、日本協会から示されるということは普段しっかりしていないと改めて思いました。

社会人選手権決勝を使つての観戦研修では、両チームフェアでタフなプレーが多くて非常に清々しいゲームでした。それも4人のレフェリー団の協力があってこそ清々しいゲームができるのだと感じました。

試合終了後のグループでのディスカッションは試合中各役割での良かった点、疑問点、改善点などを話し合いました。沢山の意見が出て、私自身の今後のレフェリー活動に大いに関係があるなと思えました。

この研修を通して投げ所は競技規則だと感じました。競技規則がなければフェアでタフなプレーはできないと思います。私自身も普段からしっかりと競技規則に目を通して、試合に関わる全ての方に信頼されるレフェリーになりたいです。



試合後のグループ分析の
内容を発表する藤井氏



試合を総括する
岡田インストラクター

●フォローアップ研修会（3/5～6開催）（2級審判員 濱田隆宏氏）

2010年度に2級へ昇級した4名で研修に参加させていただきました。初日に講義をしていただき、2日目に社会人選手権の準々決勝の主審を務め、その試合のビデオを使い指導をしていただきました。初日の講義の中で昇級者4名の経験と成果という内容があったのですが、そこで多くの人との繋がりがあって今に至ることを再確認いたしました。

この繋がりを大切に、今後も審判活動を頑張っていきたいと思っております。



加藤インストラクター部長の講義

●リフレッシュ研修会（1/29～30開催）（3級審判員 小西浩司氏）



福井氏の体験談

リフレッシュ研修会とは、35歳以上のアクティブ審判員が長く活動を続けていくのに必要な心のケアを、指導育成部並びにインストラクターの方々からアドバイスして頂ける内容でした。3級審判員になって約10年、アクティブ活動も続けてきましたが、仕事の都合もあり1年間みっちり活動できたのも初めてでした。

そんな中で今後の自分自身の活動方法や協会への貢献方法を、しっかり見つめ直すにいい機会でした。

試合当日は厳しい風と寒さの中、ビデオ撮影やアセッサーをして頂いた事をこの場を借りてお礼申し上げます。

今回学んだ仲間の有難さを大切にしていきたいと思っております。毎回新しい気づきを提供していただいている審判部の皆様に感謝します。



講義での研修審判員の議論

●JFA研修会「ガールズ8」参加報告（2/10～13開催）（2級審判員 近田智恵美氏）



参加審判員を囲んで

（前列左から2番目が近田氏）

本大会は全国から選ばれた女子小学生サッカーチームが参加する8人制の大会です。大会期間中、積雪の為早朝から懸命に除雪作業を行いピッチを整えて下さった大会関係者の方々等、多くの方がこの大会の環境を整えて下さり、その中で審判をさせて頂いたことに本当に有難く思いました。今回の大会は8人制サッカーで、オフサイドやタッチジャッジ、際どい得点など、主審が全て一人で判定を行わなければなりません。普段の11人制とは全く違う位置取りや動き方が必要になり、始めは戸惑いもありましたが、選手・ベンチ役員の方々のフェアプレー精神にも助けられ、徐々に慣れることができました。また、グリーンカードを積極的に提示することも課題でした。いつどのようなタイミングで示せばよいのか分からずこれも戸惑いでしたが、

雪の中精一杯プレーする選手達の中にと、フェアプレー精神・リスペクト精神を自然に感じることができ、ごく自然に提示ができるようになりました。プラティカルトレーニングでは、私自身の大きな課題でもある「適切な距離・角度」について学ぶことができました。適切と言われていた10～15mがどれぐらいの距離なのかを実際に測り、正確な距離感を身につけ、実際にその距離を意識し、角度を考えながら争点を追いかけて行くトレーニングです。このように具体的な距離を意識しながら動くトレーニングをする事で、自身の課題解決に向けての糸口が少し見つかったような気がします。最後に今回の研修で、多くの他府県の審判員の方々とも知り合うことができ、沢山の刺激を受けたことは、これからの審判活動において私の大きな財産となりました。また、悪天候にも関わらず、精一杯プレーを続ける選手達を見ていると、審判も常に真摯な態度で試合に臨み、常に全力を尽くさなければならないと改めて思いました。つい二ヶ月程前に研修させて頂いたJビレッジも福島原発の対策拠点となっているとお聞きしています。Jヴィレッジの為に大阪でJグリーンを支える審判員の一員となって頑張りたいと思っております。

強化育成部始動！

今年度より強化部と指導育成部を統合し、新たに強化育成部として各審判員に対する継続した指導システムを構築することになりました。新しい強化育成部の担当は以下の通りです。今後とも宜しくお願いいたします。

強化育成部		強化担当	育成担当	女子担当	ユース担当
部長	中川 毅	カテゴリ, 2級	3, 4級	女子3, 4級	ユース3, 4級
副部長	北村修一	中川 毅	北村修一	黒島有希	大橋忠仁
副部長	黒島有希	小野寺完途	大原克則	真殿三加	和田雄次
副部長	大橋忠仁	尾山雅彦・岩橋寿明・神谷遼平・篠原隆治・近田智恵美			

強化育成部今後の予定

- 5/23 (月)
強化育成トピ (南津守トピ)
- 6/4 (土)、5 (日)
1-2審判員研修会 (高槻総合)
- 6/11 (土)、12 (日)
関西カゴリⅢ研修 (淡路)
- 6/16 (木)
育成審判員月例勉強会 (協会)
- 6/日時未定
第1回大阪トピ (未定)